

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (918), 課コード (1001), 会計種別, 予算の種類, 政策 (政策, 経常, なし)

Main body table 1: 1. 事業の概要 (PLAN). Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for Heisei 31, Reiwa 2, Reiwa 3, and Reiwa 4.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Main body table 2: Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), and 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Footer table with columns: 評価 (現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)), 評価コメント, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	927	課コード	1001	会計種別		予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	--	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	個別事業 消防車両等の維持管理	実施計画への位置づけ	○有 ○無	②部課名	消防本部・総務課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	令和2年度 ~			⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.2人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	90,915千円 (うち人件費 1,740千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	市民の生命、身体、財産を災害から守るため、消防活動を円滑に行う消防車両等を整備維持管理し消防体制の万全を図る。					
(3) 事業内容	内容	複雑多様化する災害等に対応するため操作性、安全性、機能性を具備した消防車両等の総合管理及び整備を実施する。 今年度は、配備車両の維持管理を図るとともに、消防本部車両更新計画に基づき、西消防署に配置されている西水槽1号車を更新整備します。			当該年度執行計画	消防車両等の整備 日常点検：随時/定期点検及び継続検査（車検）：計画に沿って実施する。 消防車両等の修繕 点検及び継続検査等を実施した際に故障箇所等が判明した場合は早急な対応を図る。 消防車両等の更新整備 計画に沿って老朽した車両の更新整備を図る。 令和2年度の執行計画 【西水槽1号車の更新整備事業（政策）】 4月：入札・契約締結/1月：中間検査/2月：納車					
		当該年度活動結果指標	消防車両等の整備の実施率	単位	%	想定値	100				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	消防車両等を充実整備することで、各種災害等の出動に万全な体制で備える。				直接	消防車両等の整備の実施率	%	100	100		
令和3年度	消防車両等を充実整備することで、各種災害等の出動に万全な体制で備える。				直接	消防車両等の整備の実施率	%		100		
令和4年度	消防車両等を充実整備することで、各種災害等の出動に万全な体制で備える。				直接	消防車両等の整備の実施率	%		100		
(7) 事業実施上の課題と対応	消防車両の高騰化や積載資器材整備のため、事業費の高騰がある中で更新年限の延伸が見込まれ、保守点検や修繕にて緊急出動態勢を維持していく必要がある。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		車用品等	100	車用品等	100	車用品等	100	車用品等	100	車用品等	100
		車両燃料費	7,814	車両燃料費	7,766	車両燃料費	7,766	車両燃料費	7,766	車両燃料費	7,766
		車両・車検整備修繕	3,170	車両・車検整備修繕	3,591	車両・車検整備修繕	3,170	車両・車検整備修繕	3,591	車両・車検整備修繕	3,170
車検整備・法令点検手数料	1,870	車検整備手数料	1,951	車検整備手数料	1,870	車検整備手数料	1,870	車検整備手数料	1,870		
自動車損害保険料等	269	自動車損害保険料等	317	自動車損害保険料等	269	自動車損害保険料等	269	自動車損害保険料等	269		
公用車リース料	464	はしご保守点検委託料	330	はしご保守点検委託料	330	はしご保守点検委託料	330	はしご保守点検委託料	330		
消防用バッテリー等	433	公用車リース料	486	公用車リース料	683	公用車リース料	683	公用車リース料	683		
自動車重量税	596	消防用バッテリー等	378	消防用バッテリー等	378	消防用バッテリー等	378	消防用バッテリー等	378		
備品購入費	125	自動車重量税	775	自動車重量税	596	自動車重量税	596	自動車重量税	773		
		備品購入費	128	備品購入費	125	備品購入費	125	備品購入費	175		
		* 東指合1号車・ボートトレーラー購入		* 西水槽1号車購入		* 消防車両更新		* 消防車両更新			
		* 自動車損害保険料等	14	* 車両購入費(起債対象)	73,167	* 車両購入費(起債対象)		* 車両購入費(起債対象)			
		* 車両購入費(起債対象)	5,051	* 自動車重量税	91	* 湖北水槽1・つくし野2・指令2	100,000	* マイクロバス・資材1号車	20,000		
		* 自動車重量税	25	* 自動車重量税	9	* 自動車重量税	181	* 自動車重量税	59		
				* 旅費	86	* 自動車損害保険料等	27	* 自動車損害保険料等	24		
						* 旅費	86				
						* ※ 湖北水槽1(国庫補助対象) 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 基準額 II型 28,333千円					
		予算(決算)額	合計	19,931	合計	89,175	合計	115,581	合計	36,018	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	90%	4,500	充当率	90%	59,500	充当率	90%	18,000	
	一般財源			15,431			22,675			18,018	
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 ■その他	7,000	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.2		0.2		0.2		0.2		
	正職員人件費		1,760		1,740		1,740		1,740		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			21,691		90,915		117,321		37,758		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			216.91千円/%		909.15千円/%						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	消防車両等を整備することで、各種災害等の出動に万全な体制がとれるとともに、各車両の隊員の安全面の強化にも繋がるため、当事業は必要なものである。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ○不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		車検整備及び定期点検により、車両を管理し、環境負荷低減に貢献している。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%) 達成率(%) (f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.11	単位 費用単位 %	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善案及び展開方向					

事務事業評価表(令和2年度)

Header table with columns: 事業コード (1909), 課コード (1001), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, (8)施行事項, (9)財源内訳, (10)人件費等.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1)事業が必要である理由, (2)市が実施する必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, (1)目標設定は適切か?, (2)事業費削減の工夫, (3)目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2036	課コード	1001	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	消防本部・総務課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市								
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	5人 (換算人数) 0.4人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	3,628千円 (うち人件費 3,480千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	市長の諮問機関として消防制度、消防組織その他の消防に関する重要事項について調査審議し、消防体制の強化充実に努めるとともに消防行政の円滑な運営を図る。						
(3) 事業内容	内容	消防体制の強化充実及び消防行政の円滑な運営を図るため、市長の諮問に応じ審議会委員の委嘱、諮問内容に応じた調査審議を実施し、諮問された事項について市長に答申する。 令和2年度は、消防施設等整備事業の進展にあわせて消防体制の強化に向け、消防審議会の開催を計画している。			当該年度執行計画	6月 委員の委嘱 8月 審議会の開催 10月 審議会の開催 12月 審議会の開催						
		当該年度活動結果指標	審議会の開催件数	単位	件	想定値	3		実績値			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	市長の諮問に応じ審議会委員の委嘱、諮問内容に応じた調査審議を実施し、諮問された事項について市長に答申する。			直接	審議会の開催件数		件	0	3			
令和3年度	市長の諮問に応じ審議会委員の委嘱、諮問内容に応じた調査審議を実施し、諮問された事項について市長に答申する。			直接	審議会の開催件数		件		3			
令和4年度	市長の諮問に応じ審議会委員の委嘱、諮問内容に応じた調査審議を実施し、諮問された事項について市長に答申する。			直接	審議会の開催件数		件		3			
(7) 事業実施上の課題と対応	市長の諮問内容により審議会の開催件数が異なる。			代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			市長の諮問に応じ審議会を開催する 3,500×7人×3回	74	*	市長の諮問に応じ審議会を開催する 3,500×7人×3回 (消防施設等整備事業に合わせた 消防体制の強化に係る審議会分) 市長の諮問に応じ審議会を開催する 3,500×7人×3回	74			*	市長の諮問に応じ審議会を開催する 3,500×7人×3回 (消防施設等整備事業に合わせた 消防体制の強化に係る審議会分) 市長の諮問に応じ審議会を開催する 3,500×7人×3回	74
予算(決算)額		合計		74	合計		148	合計		148		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
	一般財源			74			148			74		
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.25			0.4				0.4		
	正職員人件費		2,200			3,480				3,480		
	嘱託職員報酬額		0			0				0		
	臨時職員賃金額		0			0				0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,274			3,628				3,628		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	758千円/件		1,209.33千円/件									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	消防制度及び消防組織、その他の消防に関する重要事項について常に調査研究し、消防審議会の審議を経て消防行政の円滑な運営を図り、消防設備及び施設等を改善強化する。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		消防体制の充実・強化に向け学識経験者等を委員に委嘱し、見解や意見を取り入れ、反映する。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	3	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.08	単位 費用単位 件 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				